

地域情報誌
2012年12月
(No6)

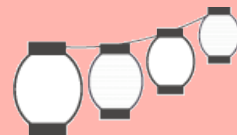
DE すがね

〈編集・発行〉生きがいのある須金をつくる会



(写真 左上：多くの人で賑わう市日 右上：紙芝居会場 左下：須磨小学校文化祭 右下：収穫祭、雲海塾による餅つき)

復活！須金市日



11月4日（日）に須金市日が復活開催されました。

市日は、徳山藩から元禄三年（1690年）に毎年1月21日だけ開催を許可され、昭和55年まで続いていたといわれています

須金の伝説にちなんだ紙芝居の上演や須金人（すがねびと）によるコンサート、ツリークライミング、ひまわり会のケーキが味わえるカフェ、なかやのパンに須万うどん、鉄馬工藝舎のドラム缶ピザなどなど、たくさんのコーナーが設けられ、子どもからお年寄りまで、須金を満喫する一日となりました。

須磨小学校の文化祭にも多くの方が来場され、児童の催しや作品展を楽しまれました。地域の皆様のご協力により大盛況となりました。ありがとうございました！

(文／周山健太郎)

人物紹介 -藤井治男さん-



写真上：松室のご自宅にて

写真下：トラクターを運転する藤井さん

Q 1)
防長バスに長年お勤めされていたそうですね。

A 1)
初めての勤務先は日立製作所笠戸工場でしたが、仕事で足に怪我を負い入院しました。その時に、山口市にある県自動車学校の生徒募集の記事を見たことが人生の転機だったのかなと思います。

学校を3ヶ月で卒業し、須金農協のトラックの助手、須金の徳山防長陸運を経て、防長バスに入社しました。

Q 2)
防長バスでは、どんなお仕事をされていたのですか？

A 2)
25歳で入社し、運転手として徳山須金線などの路線バスを運行し、40代半ばで運転手の指導員となりました。その後は、秘書や総務の仕事をしていましたが、秘書時代には社長によく怒鳴られたものです。(笑)

土砂崩れでバスが通れないのでお婆さんをおんぶして山越えした時や、お客さんが停留所に忘れた薬を走って取りに行った時に、感謝の言葉をかけてもらったことがとても嬉しかったですね。

Q 3)
ご趣味は何でしょうか？

A 3)
指導員時代に上司から誘われた詩吟です。戦時中の子供の頃、海軍の兵隊さんが帰郷すると、携帯のレコード再生機で軍歌をかけていました。その中に詩吟があったのですが、兵隊さんへの憧れもあったのでしょう。気がつけば40年近くやっています。今も徳山に教えに行っていますよ。

Q 4)
自慢を聞かせてください。

A 4)
歯です。79歳ですが全て自前なんですよ。頭の方は若かりし頃、運転手の帽子が入らないほどのリーゼントでカッコ良かったのですが、今は自前がありません。(笑)

(インタビュー：須金公民館 周山健太郎)



参加者募集！しめ飾り作り教室



日 時：平成24年12月22日（土）10：00～
（受付開始9：30～、14時終了予定）

場 所：須金農村環境改善センター 多目的ホール

参加費：300円（保険料、材料代）

定 員：50名

持参物：昼食、ハサミ、ペンチ等

申込先：須金公民館 ☎86-2201 ※12月17日（月）までにお申し込みください。

(写真：昨年の様子)

河村隆夫氏が叙勲の栄

～この人なくして今はない～

高齢者叙勲旭日単光章受章、誠におめでとうございます。

昭和50年に桧山地区第2次農業構造改善事業に着手。農協の組合長として大変ご尽力され、その先見性には頭が下がります。簿記の重要性を当初から言っておられましたね。

あれから37年、あっという間でした。苦勞もしましたが、仲間同志がいたからこそ乗り越えられました。今では代も代わり、日々いい汗をかいています。大先輩方のご功績に感謝します。これからも末永く見守ってください。

(文/自治会連合会長 福田 護)



(写真：高村正彦衆議院議員 治子夫人と)

東京都立清瀬高校の生徒が須金で民泊しました

10月30日から11月1日にかけて、都立清瀬高校の生徒が修学旅行で須金にやって来ました。

この修学旅行は錦町のやましる体験交流協議会が誘致したもので、錦町、美川町、美和町、本郷町、須金に約250名が民泊しました。

須金の受入家庭は、河村英男さん、須田浩史さん、福田タカ子さん、福田護さん、福田忠幸さんの5家庭で、それぞれ3名を受け入れました。

短くも楽しい時間を過ごせば、もう家族同然です。美和町で行われたお別れ会は、涙、涙の会となりました。

須金を忘れず、またいつの日か遊びに来てくれることを願っています！



餅つき体験

(福田護さん宅)

須金ツリー
クライミング
隊による
自然体験プ
ラン
(錦町)



須金フルーツランドだより

寒くなってきましたね。今回は冬の農園のお話です。

米や野菜と違い、果樹は冬も栽培管理の仕事があります。樹は休眠に入っていますが、この時期に来年おいしい果実がなるように土づくり、剪定作業をします。土づくりは落ち葉やたい肥をしっかりと土に混ぜ、有機質肥料をやります。

須金フルーツランドはエコファーマーの認定を受けています。これは有機質肥料をたくさん使い、化学肥料の使用を極力抑えています。こうした寒い時期でもコツコツ作業して、おいしい梨やブドウを作るために頑張っています。どうぞ来年もお楽しみに。

それではみなさん、よいお年を！

(文/福田陽一)

須金地区主な行事予定（12～1月）

2012年 12月

- 12月 3日（月）小学校地域参観日
- 12月 6日（木）小学校給食試食会
- 12月 7日（金）高齢者ふれあい忘年会
やまびこ号巡回日
- 12月 8日（土）山口県立大学&
ひまわり会交流会
- 12月 9日（日）それーねの日
- 12月18日（火）コミュニティ理事会
- 12月21日（金）小学校終業式
- 12月22日（土）しめ飾り作り教室
やまびこ号巡回日
- 12月29（土）、30（日）
消防団夜警

2013年 1月

- 1月 5日（土）消防団出初式
- 1月 6日（日）どんど焼き
- 1月 8日（火）小学校始業式
- 1月13日（日）それーねの日
- 1月21日（月）コミュニティ理事会

掲示板

昨年、地域の方々の趣味や特技などを紹介するパンフレット「須金人（すがねびと）」を発行しましたが、現在第2号を作成中です。自薦、他薦を問いませんので、須金公民館まで情報をお寄せください。

須金せせらぎ短歌会～今月の歌～

☆ 昔より広さ変らぬ庭なれど
加齢と共に手入れ届かず
村本美津江

※DE すがね無料メール配信

メールでもこの情報紙は読めます！申し込み方法はdesugane@gmail.comへ配信希望と書いたメールをするだけ。励ましや感想もこのメールアドレスで受け付けています。須金で育て、いま全国でがんばっている皆さんの元へ届けましょう！



特別連載 須金歴史探訪

石下（ごくさ）げの碑

文 高橋 勝己

藩政時代徳山毛利藩は須万村に六千石という高い年貢を課していました。そこに享保十八年（1733年）、大飢饉が起り、須万村は死者が大量に出ています。

この実情を知った毛利藩は翌年の享保十九年十月、須万村代官の光井五郎右衛門宛てに「須万村の年貢を二十貫減税し当年から実施せよ」という通告をしました。これを「享保の石下げ」といいます。

このときの記念碑が現在田原にあります。周囲は草に覆われ田んぼの石垣と見紛うような現状ですが、かるうじて当時刻まれた「石下げ」の文字を読み取ることができます。



写真：田原の石下げの碑

編集後記

今年も終わろうとしていますね。今年の須金は新しいチャレンジがたくさんありました。このコミュニティー誌もその一つ。地域の方々にスポットを当てて、輝く須金人を広めていこうという想いで作ってきました。

これからも、もっともっと須金の「人」「自然」「地域」を好きになる誌面作りに努力していきますので、応援よろしく願います。
（福田陽一）